

日刊 發行編輯人 川崎文治 本社同番地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所

常盤屋新聞

一月廿二日夕刊

一部金貳錢 廣五號十二行 日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三五
 一月廿二日夕刊 料五字一十錢 日刊 祝日ノ翌 發行所 常盤毎日新聞社
 郵税五風 料五字一十錢 日刊 祝日ノ翌 發行所 常盤毎日新聞社

初篇ヨリ 終篇マデ 三十六巻

照る日る曇る日る大 會

映上部全

普通席金十錢

舊謝恩本年度最終週間

平館

貸家案内

柳町 勤人向 四、五〇
 全 六、五〇
 仲間町 商店向 八、〇〇
 舊城跡元勤人向 八、〇〇
 菅の澤 同 五、〇〇

加藤營業所 白銀町(電話三三番)

舊歲末年始 大賣出し

平町の尖端に起つ金解直段にて大勉強仕り御来店の御客様には洩れなく名入大ゴム風船を呈上仕り候

森下商店 平町一丁目 電話八六〇番

可愛御子様への 祝品賣出し

羽子板 破魔弓

平町四丁目 (電話七二二番)

スガノヤ提灯店

可愛らしきお子の様子

洋服 ツバ
 洋 シヤ
 子 オ
 毛

帽子
 エプロン
 マント

新らしい品取揃

電 353 番

モリタヤ

特價賣出し

五丁目

三井の店舗改築披露

福引大賣出し

舊十二月廿日より五日間

金參圓御買上毎に福引券呈上

特等 江戶 襪 壹枚
 壹等 丸 帶 壹本
 貳等 本 紡 續 壹反
 參等 蒲 團 皮 壹反
 四等 風 呂 敷 壹枚
 五等 名入御手富貴 壹本

金解禁相場の大破格 品を豊富に取揃へ廉 價提供可仕是非御用 命の程を... 店舗改築を披露とし て金參圓御買上毎に 福引券呈上致します

御婚禮御仕度は... 今

大鶴屋で菓子の小賣部を 新設致しました

卸屋の小賣ですから需要者に直接御安く 差上られます

舊十二月卅日まで新設披露として御買上の方へ粗品呈 上(尚研町通聯合賣出加盟店)舊廿五日まで御買上金 壹圓毎に福引券呈上(電話七〇四番)を御利用下さい 見本持參御伺へ致します

大賣

舊十二月二十五日より (十一月二十四日より) 舊正月三日迄 十日間

金解禁後第一回入荷品 謝恩第二回福引付

時計大廉賣

左の大當り福引券進呈

10	11	12	1	2
9				3
8	7	6	5	4

壹等 金側スプス製寶石入腕巻時計.....五本
 貳等 銀側スプス製寶石入腕巻時計.....二〇本
 參等 銀側スプス製寶石入腕巻時計.....五〇本
 四等 銀側スプス製寶石入腕巻時計.....一五〇本
 五等 精工合製實用向日覺時計.....二七五本

總て空籤なしの大當り福引 賞品は弊店にて保證付の賣品

平町一丁目

常盤屋時計店 電話 三三九番

看護婦派出所

平町南町 電話三〇七番

高橋時計店 平町土橋通り

喫茶部開設

久全屋酒造

警城セメント會社特約店

警城平町五丁目 電話九番 一三九番

▽良品廉賣し勝る商畧なし△
 ▽確實敏捷は釜屋の生命なり△

洋食 一品金廿錢ヨリ
 喫茶 定食壹圓ヨリ
 宴会 静かな日本間有ます
 仕出し 出前は特に勉強致します

コック見習
 女中募集

金コン 春

電話六六六番 驛前新道通り

議會解散と……

濱通りの候補者

結局は政民兩派二名宛か
中立の起否不判明

濱通り(定員三名)から現代議士中で出馬確実と目されるのは比佐昌平(民)木村清治、松本孫右衛門(各政)の三氏である、元代議士にして

出馬説

ある者は一名もない次に新に出馬説バラ撒く黄金

一人頭二萬圓

愈々戦端の幕あき

愈々議會は解散となつた今期選挙こそは、興業民政派が勝つて引續き政権を掌握するか、又政友派が多多数黨を握り得るか、閣を政友の手に歸するかの天下分目の選挙である。だから此處一ヶ月は花々しい選挙戦は開始されて賑ふ譯だが、縣高等課で調べた立候補者一人當りの選挙費用は第一區一萬一千九百六拾七圓七拾三錢、第二區一萬二千八拾四圓、第三區九千六百三拾一圓二拾錢となつてゐる。然し其の裏面の實際は平均一人當り二萬圓位は要する模様で斯ふすれば立候補三拾名なれば約六拾萬と云ふ黄金が縣下にバラ撒かれる事となるから一景氣は出るものと縣民は大いに喜んでゐる

平町小學校の

學級數を減ず

教育費緊縮の結果

平町に於ける昭和五年度の教育費は豫算緊縮の結果前年度に比し一割五分減の方針である爲め町當局は第一第二兩校長と打合せ學級數を減ずる事となり目下協議を重ねてゐるが兩校長の意見としては兩校より十二學級を取つて第三小學校に編入し残りの二十七學級より各二學級を減じやうとするにあるが町當局としては現在一學級五十人内外の處を七十人乃至八十人とし兩校

立候補の場合は同氏應援の程度に終るであらうと見られてゐる、この外中立候補として山田忠正氏の出馬説もあるも今尙同氏の起否は判然してない

石城郡の

投票用紙配

平第一校で

無産黨の勢力は縣下に冠たるものあり同地大衆黨の進出も可成注目されてゐるが目下の處黨員中から出馬見込み薄く結局は前回同様中立として佐川潔氏

解散の號外や貼札

選挙の話で持ツ切り

手具脛引く印刷屋

郵便配達夫は大こぼし

議會解散の當日平町は新聞社の號外配達夫が威勢よく各戸を廻り特報は到る處へタ／＼と貼つけられて市内は邊に活氣づき何處へ行つても選挙の話で持ち切りの状態である、議會解散で市井には喜憂さま／＼あるが先づ喜ぶ者の方では印刷屋で早くも用紙封筒類迄買込で準備し此處を書き入れ時とばかり手具脛引いて待つてゐる、ブラ／＼してゐる高等遊民と云つた様な無職者でも選挙事務所から筆稿を依頼され様と此等も仕事にありつけるので喜んでゐる多忙になつて困るのは郵便配達夫で今から大こぼし

火防宣傳の

當日に火事

居室と物置を

二十一日午前十時頃石城郡上野野村大字根岸高萩秀清方から火居宅と物置二棟を焼失



人參皮の利用法

ニンジン(人参)の皮の廢物利用として白あへの作り方を申し

上小川の火事

隣家に延焼

爐火の不始末

昨日午後二時半頃石城郡上小川村大字上小川字内倉一七草野源太方より出火し同家を始め隣家三軒及非住家六棟半焼一棟を焼失して午後四時漸く鎮火した原因は爐火の不始末より起つたもので損害等は目下取調中

海軍志願

平町に十三名

平町に於ける本年度海軍志願兵の数は拾三名で例年に比し約八名の増加である

赤井收入役逝く

石城郡赤井村役場收入役赤谷常松氏(六)は一日午前二時突然腦溢血を起して逝去したが同氏は同村に於て村會議員、助役收入役等公職にある等二十餘年村民より敬慕されて居た

磐東銀行總會

植田町警東銀行の定期株主總會は二拾五日午前九時より同様に開催昭和四年度後期決

植田水電總會

石城郡植田水力電氣會社昭和四年度下半年期貸借對照表並に利益金處分承認に關する定時株主總會は廿五日午前九時半より開く配當は時節柄前期より約二分を減じて六分となす筈であると

兔の耳

印紙の衣裳、此間の日曜フランスのセヴランと言ふ大工場に使用されてゐる男女一對の職工さん迄迄ためてゐた肺病豫防の宣傳用切手で外出著を作り悠々とセヴランの通りを散歩した二人の衣裳に用ひた印紙の總價格は一萬五千フランだつたと

平町人事

△出生
△田野六八 神谷兼次郎氏二男富久

健胃散
小野常治謹製

五丁目諸橋久太郎の三氏と小作十五名間の問題は諸橋矢吹の兩氏は一割引に譲歩せるも酒井氏は絶対に割引を爲さずと主張し小作人側は二割乃至四割の割引を要求してゐる爲め調停裁判を仰ぐ事になつた

明日の天気

北東の風
曇り空小
雪模様

指環
時計
常盤屋
平電三三九

四倉納税表彰

石城郡四ツ倉町に於ける昭和三年度優良納税者は納税組合關係者三百七十一名個人納税者百六十七名合計五百三十八名であるが同役場では近く是れが表彰を爲す由

軍事劇開演

聚樂館にて
石城在郷軍人聯合會、平町青年團並に在郷軍人分會後援となり来る二月一日よ

玉川小作問題

調停裁判に
兩者共に強硬
石城郡玉川村字林城の小作人十三名が小作米納入に關し地主との間に紛争を醸し同村長駒木根忠藏氏の仲介により二割引を條件として解決した事は既報の通りであるが同村住吉の地主平町酒秀次郎、湯本町矢吹平